

抜群の融雪効果・実証された安全性！

Kuretake  
ケルタケ  
融雪剤

**S.Rブラック** 18ℓ入り

除雪作業の省力・省人化をはかり、除雪経費および機会損失を低減します。

**S.Rブラックとは**

S.Rブラックは、特殊なカーボンブラックを主成分とした熱線吸収タイプの融雪剤です。肥料成分を含まず、散布頻度多くなっても濃度障害の心配はありません。



散布前



2時間後

**1 抜群の融雪効果**

S.Rブラックは、特殊なカーボンブラックを主成分とした熱線吸収タイプの融雪剤です。水に希釈し散布するだけで、短時間で融雪します。

**2 濃度障害のない安全な融雪剤**

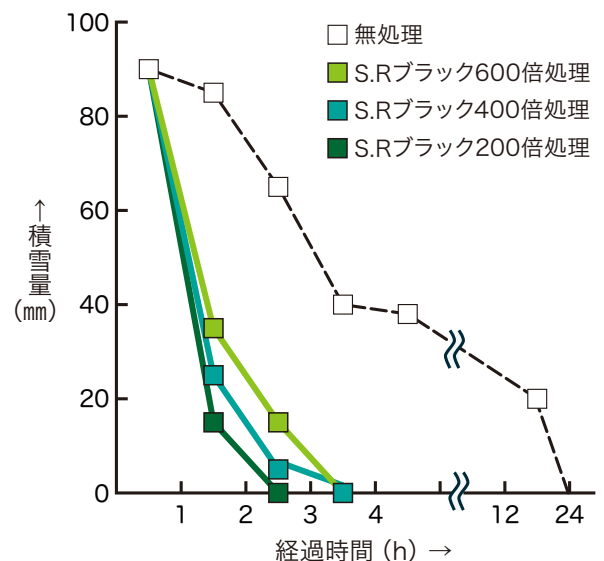
肥料成分を含まず、カーボンブラックを主成分としますので、散布頻度が多くなっても、芝に対する濃度障害や発芽への影響を起すことはありません。

**3 散布作業が簡便で除雪作業を大幅にスピードアップ**

S.Rブラックを水で200～600倍に希釈し、加圧噴霧するだけで容易に融雪します。省力・省人化による経費の削減をはかります。

**4 超微粒子分散していますので、噴霧機械類を傷めません。**

**S.Rブラックの融雪効果**



**ご使用方法**

- S.Rブラックを水または温湯に約200～600倍に希釈し、散水車・スプレーヤーなどで噴霧してください。
- 積雪量が概ね15cm以上の場合は、他の手段で一旦除雪を行い、10cm以下の残雪にS.Rブラックを処理します。

## S.Rブラックの融雪効果

### 試験方法

- ①日時・場所 1987年1月6日  
勝田パブリックゴルフクラブ  
ベントグリーンナセリー
- ②芝の種類 ペンクロスベントグラス
- ③造成後植付年数 1985年9月播種
- ④刈高 6.0mm
- ⑤土性 砂
- ⑥気象 1/5積雪  
1/6最高気温1.5℃、最低気温2.5℃  
晴れ
- ⑦SRブラック倍率 200倍、400倍、600倍希釈
- ⑧散布量 250ml/m<sup>2</sup> (希釈液)
- ⑨散布方法 加圧噴霧

### テスト時の気温 (1月6日)

時間	地表温度	地中5cm	気温
8時	1.5℃	3.3℃	-2.5℃
12時	2.8℃	3.8℃	1.5℃
17時	4.5℃	6.0℃	0.8℃

### 日射量 (1月6日)

時間	9~10時	10~11時	11~12時	12~13時	13~14時	14~15時	15~16時
cal/cm <sup>2</sup> /min	20.8	31.2	38.1	30.0	16.2	2.3	1.3

### 各希釈倍率における融雪効果 積雪量 (cm)

経過時間	0h	1h	2h	3h	4h	24.5h
時間	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	10:00
200倍希釈	9.0	1.5	0	0	0	
400倍希釈	9.0	2.5	0.8	0	0	
600倍希釈	9.0	3.5	1.5	0	0	
対照区	9.0	8.5	6.5	4.0	3.5	0

積雪90mm、-2.5℃~1.5℃、晴れの条件下での融雪効果は無処理に比べ格段の効果が分かる。希釈倍率は400~600倍でも十分な効果が認められた。

## 濃度障害試験

### 試験方法

- ①日時・場所 1987年1月26日~4月14日  
関西グリーン研究所試験圃場
- ②芝の種類 ペンクロスベントグラス  
(グリーンとして管理)
- ③造成後植付年数 約10年経過
- ④土性 海砂に土壌改良材を混合
- ⑤散布方法 小型1ℓ噴霧器により1回のみ散布処理
- ⑥調査測定 定期観察および写真撮影
- ⑦試験圃場の管理 施肥および刈込みは行わなかった
- ⑧検査期 3/10中間検査、4/14最終検査

### 希釈倍率

処理区No.	1	2	3	4	5	6	7
希釈倍率	原液	20倍	40倍	80倍	160倍	320倍	640倍

### 茎葉重 (地上部) および根重 (g)

処理区	640倍	320倍	160倍	80倍	40倍	20倍	原液	平均
茎葉重量	0.31	0.30	0.30	0.35	0.41	0.51	0.40	<b>0.37</b>
根重量	0.41	0.25	0.31	0.28	0.21	0.35	0.30	<b>0.30</b>
合計	<b>0.72</b>	<b>0.55</b>	<b>0.61</b>	<b>0.63</b>	<b>0.62</b>	<b>0.86</b>	<b>0.70</b>	<b>0.67</b>

(標準偏差σ: 茎葉重量0.077 根重量0.065 合計0.101)

最も濃いものは原液を用いたが、茎葉や根に影響を与えるものではなかった。S.Rブラックが芝の地上部・地下部の生育へ影響することはないといえる。

## 発芽に対する影響試験

### 試験方法

- ①種子の種類 ペンクロスベントグラス
- ②発芽床 ペーパー
- ③温度条件 20~30℃の変温
- ④散布量 200倍希釈液400ml/m<sup>2</sup>
- ⑤調査 7日後に発芽勢、21日目に発芽率を測定
- ⑥反復 S.Rブラック区対象区とも100粒ずつ2反復

### 発芽試験結果

試験番号	種類	発芽勢 (%)	発芽率 (%)
62・03	対照区	81.5%	85.0%
62・04	S.Rブラック処理	76.5%	80.0%

対照区とS.Rブラック処理区との差は、発芽率で5.0%であり、発芽勢・発芽率を100としたとき、差は5~6の比である。S.Rブラック400ml/m<sup>2</sup>相当の処理はペンクロスベントグラスの発芽にほとんど影響を与えないと考えられる。

## ご使用方法

- S.Rブラックを水または湯温に約200~600倍に希釈し、スプレーヤーなどで噴霧して下さい。
- 積雪量が概ね15cm以上の場合は、他の手段で一旦除雪を行い、10cm以下の残雪にS.Rブラックを処理します。

〈販売元〉



**東洋グリーン株式会社**

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店  
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター  
<https://www.toyo-green.com>

〈製造元〉



**Kuretake** 株式会社 呉竹

〒630-8670 奈良県奈良市南京終町7-576

<https://www.kuretake.co.jp>